

# 令和6年度 第2回 蕨市スポーツ推進審議会 会議録

日 時 令和7年3月21日（金）

午後3時30分～午後5時10分

会 場 蕨市立中央公民館 小会議室

出席委員／ 奥田昌利、宮原芳子、佐藤則夫、畑中隆一、秋山滋雄、平田道義、  
椿智絵、大武勝雄、熊田宣俊 各委員

欠席委員／ 宮寄直子、松田悦典 各委員

事務局／ 松本教育長  
加納教育部次長兼生涯学習スポーツ課長  
小柴生涯学習スポーツ課長補佐

## 1 開 会

## 2 あいさつ

奥田会長

## 3 議長選出

奥田会長を選出

## 4 前回会議録の承認

承認された。

## 5 議 事

### 《報告》

#### (1) 令和6年度 スポーツ関連事業 報告について

上記のことについて、事務局から報告があった。

委 員： 質疑なし

#### (2) 令和7年度 スポーツ関連事業 計画及び予算について

上記のことについて、事務局から報告があった。

委 員： 市民体育館に冷風機を購入するとのことだが、市民体育館は避難所に指定されており、昨今の暑さ・寒さを考えると、冷風機ではなくエアコン設置が必要だと思うが、検討はされているのか。

事務局： エアコンの必要性は充分感じているところではあるが、市全体の財政状況や施策の優先度等を総合的に検討する事項と考えている。

委員： 中央プールの温水化に向けての検討委員会の内容はいかがか。

事務局： 庁内検討委員は、スポーツを担当する私どもの部署、また、プール建設に関連のある財政、公共施設、学校、公園を担う部署等の市職員で構成されている。令和6年4月に発足し、これまでに会議を3回開いた。新しい施設に必要な設備や、実際に建設が可能なのか等を話し合っているところで、現状で何か決定した等のご報告ができるところまでには至っていない。令和7年度も引き続き検討を重ねていきたい。

委員： 今の時点でプールの着工や完成のスケジュールが決まっていないのは理解できる。まず、検討してもらえることが、ありがたい。中学校の部活動の地域移行など、動きがあるので、なるべく早めに行けるとよいと願っている。

事務局： 会議としては3回だが、それと並行して、情報収集等を行っている。

委員： 例えば、水泳連盟の方などに検討委員会に入ってもらうなどの方針はあるのか。

事務局： 今のところ、市の関連部署の職員がそれぞれの立場で意見を出しているところであるが、先々、関連する市民の方には、何らかの形でご意見をお聞きする機会が必要だと思っている。

今の段階では、競技ができる設え、小さなお子さんにも楽しんでもらえる幼児プール、学校授業でも活用できるような施設などの条件にはどのような設備が必要なのかを洗い出している状況。実際にどれだけ盛り込めるかは、今後検討を重ねていく。

令和9年度には、スケジュール感の見通しを示したい。

委員： 実績のある優秀な方が蕨の水泳連盟に加入しているため、地域の指導に携わっている。

他市でも新しいプールの構想がある。蕨市でもなるべく早く実現してほしい。

委員： スポーツ関連事業は、令和7年度は、令和6年度を継続していくとの説明があった。前回の会議で、例えば、支部体育祭が支部によって人数が違う等の話をしたかと思うが、「目標」がないと結果を聞いても、昨年度と比べての増減くらいしか議論できない。はじめに「目標」を示してほしい。参加人数が「目標」に達しなかった場合は、その原因が何なのかを議論できるし、次の年度に活かすことができるのではないかと。

事務局： 行事によっては、明確な目標を設定することが難しいものもあるが、「目標値」を意識してご提示するようにしたい。参加人数以外での評価もある

と思うが、意識していきたい。

現在、令和7年度から始まる「生涯学習推進計画」を策定しているが、その中には、数値目標を設定しているものもあり、そこも見据えながら取り組んでまいりたい。冊子が出来上がったなら委員の皆様にもご覧いただきたい。

委員： 現在の「生涯学習推進計画」には、「スポーツ・レクリエーション機会の創出」の項目があり、施設の整備・充実、イベント・教室等の開催に力を入れるという方針があり、それが様々な事業につながっていると思っている。上位概念の中に、市民のスポーツ実施率を上げる、例えば、「週に〇回以上スポーツをする人」を何人にしたいのか等を目標にするとそれに連動して定量的な目標を作ることができる。

令和6年度までの推進計画では、手段が目標になっているように感じる。手段を提供したから目標達成とするのではなく、スポーツをすることで子供から高齢者まで、みんなが健康になる、そのためには、何人の方にスポーツをしてもらいたいのかを「目標」にしたほうがわかりやすいと思う。

例えば、前にやっていた「わらっくす体操を、週に1回やる人」の人数の目標値を示して、達成するためにスポーツ教室にその体操を取り入れるなどでもよいと思う。

次の推進計画には、定量目標が示されているとよいと思うが、もし、示していなくても、最終的にスポーツ実施率をどうしたいのかを意識しながら年度の目標を設定すれば、我々も議論しやすい。

委員： 以前、「わらっくす体操」を、家にこもっている高齢者や体の弱い方でも座ったままでもできるものを、と行政とともに作りあげた。継続することが大事だが、核となる方がいないとなかなか難しく、反省点でもある。

委員： 上位にあたる推進計画に「高齢者の健康づくりをやりましょう」、「週に〇回は身体を動かしましょう」という明確な目標があるとよい。

委員： 今は、100歳体操を広めてもらっている。

委員： 中学生はどこで水泳をやっているのか。

委員： 蕨市水泳連盟では、「強化練習」を立ち上げ、年に4回程度の予定で中学校の部活動の補助する活動を行っている。また、昨年度は川口市水泳協会と蕨市水泳連盟が合同で、主に中学生を対象とした強化練習を青木公園のプールで実施した。

蕨の強化練習は、令和7年度も実施することとしており、場所は塚越小学校のプールを借りる予定。お湯が出るが、壁に覆われているわけではないので、3月～11月の利用としている。

委員： 自身の所属する団体では、今年度は、保健センターとタイアップして、

ウォーキングイベントを実施した。今までのお話を聞いていて、スポーツクラブとして、ご協力できることはあると感じている。他市の事例などもそろっているので、必要に応じて相談してほしい。

### (3) 令和6年度 蕨市体育賞受賞者の報告について

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 全体として、被表彰者の増減はどのようなか。

事務局： 年によって多少の増減はあるが、例年、同じくらいの数である。

各団体からの推薦を基に決定をしているが、情報に漏れがないように事務局としても情報収集に努めている。

## 6 その他

委員： 中学校の部活動地域移行が成功する秘訣は、地域に協力者がいるということ、ハブとなる人材がいることだと思う。水泳連盟としては、指導者となる人材がおり、いつでもお手伝いできると考えている。地域移行がなかなか進まない要因はどのようなか。

教育長： まずは、活動する場所の有無、また、受益者負担が発生することも要因と考える。現状では、蕨市は国の実証事業に参加しており、陸上・剣道・柔道の三種目の地域移行を行っている。事業を委託しており、指導者は業者が推薦する。陸上のみ教員が兼業している。剣道や柔道は地元の連盟に指導をお願いしている。中心となってまとめてくれところがあると、蕨市も大きく前進すると思われ、将来的には、種目ごとに地元の連盟の協力を得たいと考えている。

令和7年2月23日に埼玉県スポーツ協会創立100周年記念式典が執り行われ、蕨市からは奥田会長が「功労者表彰」を受賞された。教育長より伝達。

次回のスポーツ推進審議会は、令和7年9月頃を予定。改めて通知する。

## 7 閉 会

佐藤副会長あいさつ

午後5時10分閉会